

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成30年2月1日 (2018.2.1)

【公開番号】特開2017-51852(P2017-51852A)

【公開日】平成29年3月16日 (2017.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2017-011

【出願番号】特願2016-250398(P2016-250398)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月18日 (2017.12.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技の進行を制御し、遊技の進行に合わせたコマンドを送信する主制御部と、  
該主制御部から送信されたコマンドに基づいて演出を決定し、決定した演出を演出装置  
に実行させる演出制御部と、  
遊技者による操作が可能であり、かつ遊技者による操作に関する操作状況を検出する操  
作手段と、  
前記操作手段から検出された前記操作状況を操作情報として処理する操作制御手段と  
を備える遊技機であって、  
前記演出制御部は、  
前記操作情報が遊技者により前記操作手段が操作されていることを示すものであるとき  
に当該操作情報を操作時間に関連付けて処理する処理手段を備え、  
前記操作情報として少なくとも、前記操作手段が非操作状態から操作状態に変化したか  
どうかを示す情報を記憶するエッジ記憶部および前記操作手段が継続操作されている時間  
に関連付けた情報を記憶するオン信号カウント数記憶部を備え、  
前記演出に基づいて定められた所定期間内において、前記操作情報が所定時間以上継続  
して前記操作手段が操作される第 1 の操作を示すものであること、及び前記所定時間未満  
継続して前記操作手段が操作される第 2 の操作を示すものであることを少なくとも判断可  
能であり、  
前記所定期間のうち、前記第 1 の操作が行われたか否かを判定する第 1 の操作受付有効  
期間内であるか、前記第 2 の操作が行われたか否かを判定する第 2 の操作受付有効期間内  
であるかにかかわらず、前記エッジ記憶部内及び前記オン信号カウント数記憶部内の前記  
操作情報を一定間隔のサンプリングタイミング毎に更新可能であり、  
前記第 1 の操作受付有効期間内に遊技者に対し長押し操作が可能であることを報知する  
長押し指示演出を実行し、  
前記第 2 の操作受付有効期間内に遊技者に対し短押し操作が可能であることを報知する  
短押し指示演出を実行し、  
前記第 1 の操作受付有効期間内に前記操作情報が前記第 1 の操作を示すものであると判  
断した場合、前記第 1 の操作が行われたものとして長押し演出を実行し、  
前記第 2 の操作受付有効期間内に前記操作情報が前記第 1 の操作を示すものであると判

断した場合、前記第 1 の操作が行われたものとする長押し演出を行わないこと特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

上記目的を達成するため、請求項 1 に係る発明は、

遊技の進行を制御し、遊技の進行に合わせたコマンドを送信する主制御部と、

該主制御部から送信されたコマンドに基づいて演出を決定し、決定した演出を演出装置に実行させる演出制御部と、

遊技者による操作が可能であり、かつ遊技者による操作に関する操作状況を検出する操作手段と、

前記操作手段から検出された前記操作状況を操作情報として処理する操作制御手段とを備える遊技機であって、

前記演出制御部は、

前記操作情報が遊技者により前記操作手段が操作されていることを示すものであるときに当該操作情報を操作時間に関連付けて処理する処理手段を備え、

前記操作情報として少なくとも、前記操作手段が非操作状態から操作状態に変化したかどうかを示す情報を記憶するエッジ記憶部および前記操作手段が継続操作されている時間に関連付けた情報を記憶するオン信号カウンタ数記憶部を備え、

前記演出に基づいて定められた所定期間内において、前記操作情報が所定時間以上継続して前記操作手段が操作される第 1 の操作を示すものであること、及び前記所定時間未満継続して前記操作手段が操作される第 2 の操作を示すものであることを少なくとも判断可能であり、

前記所定期間のうち、前記第 1 の操作が行われたか否かを判定する第 1 の操作受付有効期間内であるか、前記第 2 の操作が行われたか否かを判定する第 2 の操作受付有効期間内であるかにかかわらず、前記エッジ記憶部内及び前記オン信号カウンタ数記憶部内の前記操作情報を一定間隔のサンプリングタイミング毎に更新可能であり、

前記第 1 の操作受付有効期間内に遊技者に対し長押し操作が可能であることを報知する長押し指示演出を実行し、

前記第 2 の操作受付有効期間内に遊技者に対し短押し操作が可能であることを報知する短押し操作指示演出を実行し、

前記第 1 の操作受付有効期間内に前記操作情報が前記第 1 の操作を示すものであると判断した場合、前記第 1 の操作が行われたものとして長押し演出を実行し、

前記第 2 の操作受付有効期間内に前記操作情報が前記第 1 の操作を示すものであると判断した場合、前記第 1 の操作が行われたものとする長押し演出を行わないこと特徴とする遊技機である。